	山上未向っ	等専門学校	開講年度	令和03年度	夏(2021年度)	授美		英語総合			
科目基礎		,,	1					1			
17 <u>10 坐 吸</u> 科目番号	C II J TK	0025			科目区分	-	 -般 / 必				
授業形態		授業			単位の種別と単		履修単位: 4				
以本ル心 開設学科		生物応用化	 化学科		対象学年		<u> </u>	•			
開設期		通年	0311		週時間数						
	++		BIG DIPPER Englis	sh Communic	1		•	-クブック、参考書:『総合英語			
教科書/教	·M	Be (3rd I	Edition) 』 (เว้า		(3,1,7,1,2,1,3,1,7,1,2,1,3,1,7,1,2,1,3,1,7,1,2,1,3,1,7,1,2,1,3,1,1,2,1,3,1,1,2,1,2,1,2,1,2,1,2	37.1.					
担当教員		平山 規義									
到達目標		نا با با با با			. =						
3. 教科書及	及びそれと	同程度の文献	を聞いて、大体のFについて簡単に英語を読んで、辞書を任 について、簡単など	使えば、その概	(略を理解できる。						
ルーブリ	<u> </u>		1								
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レ	ベルの目	安	未到達レベルの目安			
引く			80%以上習熟で	きている	60~79%習熟で	きている	0	59%以下しか習熟できていない。			
舌す			80%以上習熟で	きている	60~79%習熟で	きている	0	59%以下しか習熟できていない。			
売む			80%以上習熟で	きている	60~79%習熟で	きている	0	59%以下しか習熟できていない。			
書く			80%以上習熟で	きている	60~79%習熟で	きている	0	59%以下しか習熟できていない。			
学科の到]達目標I	頁目との関(—— <u>—</u> 係				·				
D											
教育方法	 法等										
既要		者に必要な2. 種々の	よ実践的英語力を養 読み物を通して、葬	§う。 英語圏に限らず	的な語法により習熟す `世界各国の状況に触れ ニケーション能力の向	1、国際的	視野を広	舌す」「読む」「書く」の技能を高め、技 なめる。			
受業の進め	め方・方法	官行う。			々な質問に対して答え 夏休みなどの長期休暇			業を行う。課題提出・小テストも適 ることもある。			
		2) テキス ままに理解 言語の差類	必ず予習して授業に臨むこと。90分の授業に際しては最低60分、机に向かい、1)単語の意味など辞書で確認をし、2)テキストを声に出して読み、3)テキストを日本語に翻訳し、その内容を確認すること。多読のように英語を英語のままに理解することが望ましいが、母語である日本語を理解のための道具として用いることは合理的であるし、2つの言語の差異に気づくことで理解がより深まるはずである。								
注意点		17授美田・									
主 意点		トをとるる 事後学習 授業の内容 し、2) [こと。また調べたこ : 容については必ず復 『参考書』で文法事	こと、考えたこ。 夏習すること。 I 項などを再確認	とを積極的に発言する 最低30分机に向かい、 &したり、ワークブッ?	ようにす 1) 教科 クや課題	ること。 書・ノート 敎材に取り	〜を広げ、その日の授業の内容を確認 り組むこと。3) 次回の授業では前回			
注意点		事前を 学習 習る 学と 学習 授しの語 で 後 学の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	こと。また調べたご : : 容については必ず復 『参考書』で文法事 内容について小テス ずに英語を理解する 是出物は完璧でなく	こと、考えたこ。 夏習すること。」 項などを再確認 くトが行われる。 な練習を行うこ。 くとも期限まで(とを積極的に発言する 最低30分机に向かい、 忍したり、ワークブック ことがあるので、準備 と。	ようにす 1) 教科 クや課題 しておく	ること。 書・ノート 数材に取り こと。ま	の発言から解明するように努め、ノートを広げ、その日の授業の内容を確認り組むこと。3)次回の授業では前回でた4)テキストを音読しながら、日本は・TOEIC Test など外部試験も積極に			
	属性・履何	事所を 事授と 事授しの語 を を 等 で のの語 で で のの語 で の に の に の に の に の に の に の に の に の に り の に り の に り の に り に り	こと。また調べたご : : 容については必ず復 『参考書』で文法事 内容について小テス ずに英語を理解する 是出物は完璧でなく	こと、考えたこ。 夏習すること。」 項などを再確認 くトが行われる。 な練習を行うこ。 くとも期限まで(とを積極的に発言する 最低30分机に向かい、 忍したり、ワークブック ことがあるので、準備 と。 には提出すること。実	ようにす 1) 教科 クや課題 しておく	ること。 書・ノート 数材に取り こと。ま	〜を広げ、その日の授業の内容を確認 り組むこと。3) 次回の授業では前回 た4) テキストを音読しながら、日4			
受業の属	<u>属性・履何</u> ・ィブラーニ	事所を 事所を 事所を を 変に 変に 変上の 変上の 変上の 変上の 変上の 変上の 変上の 変上の	こと。また調べたご : : 容については必ず復 『参考書』で文法事 内容について小テス ずに英語を理解する 是出物は完璧でなく	こと、考えたこ。 夏習すること。」 項などを再確認 くトが行われる。 な練習を行うこ。 くとも期限まで(とを積極的に発言する 最低30分机に向かい、 忍したり、ワークブック ことがあるので、準備 と。 には提出すること。実	ようにす 1) 教科i クや課題す しておく ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ること。 書・ノート 数材に取り こと。ま	トを広げ、その日の授業の内容を確認 り組むこと。3) 次回の授業では前回 た4) テキストを音読しながら、日本 さ・TOEIC Test など外部試験も積極			
受 業 の属 』アクテ	・ィブラーニ	事所を 事所を 事所を を 変に 変に 変上の 変上の 変上の 変上の 変上の 変上の 変上の 変上の	こと。また調べたご: 学については必ず後 「参考書」で文法事 内容について小テス ずに英語を理解する 是出物は完璧でなく てほしい。その成績	こと、考えたこ。 夏習すること。」 項などを再確認 くトが行われる。 な練習を行うこ。 くとも期限まで(とを積極的に発言する 最低30分机に向かい、 別したり、ワークブック ことがあるので、準備 と。 には提出すること。実 価に加えることもある	ようにす 1) 教科i クや課題す しておく ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ること。 書・ノート 数材に取り こと。ま	トを広げ、その日の授業の内容を確認 り組むこと。3) 次回の授業では前回 た4) テキストを音読しながら、日本 で・TOEIC Test など外部試験も積極			
受 業 の属 』アクテ	・ィブラーニ	事前を 学習 で	こと。また調べたご : 学については必ず後 参考書』で文法事 内容について小テス ずに英語を理解する 是出物は完璧でなく てほしい。その成績	こと、考えたこ。 夏習すること。」 項などを再確認 くトが行われる。 な練習を行うこ。 くとも期限まで(とを積極的に発言する 最低30分机に向かい、 別したり、ワークブック ことがあるので、準備 と。 には提出すること。実 価に加えることもある	ようにす 1) 教科語 つや課題 いておく ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ること。 書・ノート 教材に取 こと。ま 技術英検	トを広げ、その日の授業の内容を確認り組むこと。3)次回の授業では前回た4)テキストを音読しながら、日本 ○・TOEIC Test など外部試験も積極に □ 実務経験のある教員による授			
受 業 の属 』アクテ	・ィブラーニ	事所を 学習 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	こと。また調べたご:	こと、考えたこ。 夏習すること。 夏などを再確認 ないが行われる。 な練習を行うこ。 なとも期限までで したよっては評価	とを積極的に発言する 最低30分机に向かい、 思したり、ワークブック ことがあるので、準備 と。 には提出すること。実 価に加えることもある	ようにす 1) 教科語 つや課題 いておく ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ること。 書・ノート 数材に取り こと。ま	へを広げ、その日の授業の内容を確認り組むこと。3) 次回の授業では前回 た4) テキストを音読しながら、日本 ・TOEIC Test など外部試験も積極に □ 実務経験のある教員による授			
受 業 の属 』アクテ	・ィブラーニ	事所を 等で () で ()	こと。また調べたご:	こと、考えたこ。 調などを再確認 くトが行われる。 な練習を行うこ。 くとも期限までした。 情によっては評価	とを積極的に発言する 最低30分机に向かい、 思したり、ワークブック ことがあるので、準備 と。 には提出すること。実 価に加えることもある	ようにす 1) 教科語 つや課題 いておく ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ること。 書・ノート 教材に取 こと。ま 技術英検	、を広げ、その日の授業の内容を確認り組むこと。3) 次回の授業では前回 た4) テキストを音読しながら、日本 ○ ・TOEIC Test など外部試験も積極 □ 実務経験のある教員による授			
受 業 の属 』アクテ	・ィブラーニ	事	こと。また調べたご:	こと、考えたこ。 関すること。 項などを再確認 くトが行われる。 な練習を行うこ。 くとも期限までした。 責によっては評価 ン、Lesson 1 ながる和食文化	とを積極的に発言する 最低30分机に向かい、 思したり、ワークブック ことがあるので、準備 と。 には提出すること。実 価に加えることもある	ようにす 1) 教科語 クや課題 く 用英検・ 適ごとの 文法事項	ること。 書・ノート 教材に取 こと。ま 技術英検	、を広げ、その日の授業の内容を確認り組むこと。3) 次回の授業では前回にた4) テキストを音読しながら、日本ま・TOEIC Test など外部試験も積極□ 実務経験のある教員による授業			
受 業 の属 』アクテ	イブラーニ	事ト 事授しの語 そに を 後業、授を の活 を を を を を を を を で を で の で の 活 で の 活 の 活 の 活 の 活 の 活 の 活 の 活 の 活 の 活 の 活 の 活 の 活 の 活 の 活 の 活 の 活 の 活 の 活 の ま の の ま の の の の の の の の の の の の の	こと。また調べたご : SP(こついては必ず後 『参考書』で文法事 内容について小テス ずに英語を理解する 是出物は完璧でなく てほしい。その成績 UICT 利用 授業内容 オリエンテーション the World 世界に加 Part 1 & Part 2 Lesson 1 Part 3 &	では、考えたこの 理すること。 現などを再確認 くたが行われる。 な解習を行うこと によっては評価 によっては評価 ないる和食文化 ないる和食文化 ないる和食文化 ないるれ食文化 ないるれ食文化 ないるれる。	とを積極的に発言する 最低30分机に向かい、 思したり、ワークブッパ ことがあるので、準備 と。 には提出すること。実 価に加えることもある □ 遠隔授業対応 Washoku Around 「文化」	ようにす 1) 教科類 クレておく 用英検・ 立 立 文 法 事 項 文 法 事 項 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ること。 書・ノート 取さと。 まが 大	、を広げ、その日の授業の内容を確認り組むこと。3)次回の授業では前回にた4)テキストを音読しながら、日本ではでいる。・TOEIC Test など外部試験も積極では、というでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で			
受 業 の属 』アクテ	・ィブラーニ	事ト 事授しの語 を 後業、授を の活 区 上グ 多上 3週 1週 3週 3週 3週	こと。また調べたご : 容については必ず復 が考書』で文法事 内容について小テス ずに英語を理解する 是出物は完璧でなく てほしい。その成績 UICT 利用 授業内容 オリエンテーション the World 世界にか Part 1 & Part 2 Lesson 1 Part 3 & Lesson 2 Chirori, 日本初のセラピーカ	では、考えたこの 理すること。 関などを再確認 くたが行われる。 な解習を行うこと とも期限までした。 によっては評価 によっては評価 ないる和食文化 ないではでいます。 ないではでいます。 ないではではできます。 ないではでいます。 ないではできます。 ないできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないできますなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	とを積極的に発言する 最低30分机に向かい、 思したり、ワークブッパ ことがあるので、準備 と。 には提出すること。実 価に加えることもある □ 遠隔授業対応 Washoku Around 「文化」	ようにす 1) 教科語 かけておく 用英検・ 立 立 文法事項 文法事項 SVO(0	ること。 書・ノー取 教材と。 ま 技術英検 立到達目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、を広げ、その日の授業の内容を確認り組むこと。3)次回の授業では前回にた4)テキストを音読しながら、日本では、TOEIC Test など外部試験も積極は、実務経験のある教員による授業では、過去完了(復習)とは、復習)			
受 業 の属 』アクテ	イブラーニ	事ト 事授しの語 を 後業、授を の活 区 上 グ 過 週 週 週 3週 4週	こと。また調べたご : SP(こついては必ず後 が考書』で文法事 内容について小テス ずに英語を理解する 是出物は完璧でなく てほしい。その成績 UICT 利用 歴業内容 オリエンテーション the World 世界に加 Part 1 & Part 2 Lesson 1 Part 2 & Lesson 1 Part 3 & Lesson 2 Chirori, 日本初のセラピープ Part 1 Lesson 2 Part 2 &	では、考えたこの 関すること。 関などを再確認 くたが行われる。 な練習を行うこの くとも期限までは 近によっては評価 ないる和食文化 になっては。 ないではでいますができます。 ないではできますができます。 ないではできますができます。 ないではできますができます。 ないではできますができます。 ないではいますができますができます。 ないではいますができますができます。 ないではいますができますができます。 ないではいますができますができます。 ないではいますができますができます。 ないではいますができますができますができます。 ないではいますができますができますができますができます。 ないではいますができますができますができますができますができますができますができますができ	とを積極的に発言する 最低30分机に向かい、 思したり、ワークブッパ ことがあるので、準備 と。 には提出すること。実 価に加えることもある □ 遠隔授業対応 Washoku Around 「文化」	ようにす 1) 教科 (アレース) 教	ること。 書・ノート 製材に取った。 技術英検 ・シートのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーでは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、を広げ、その日の授業の内容を確認り組むこと。3)次回の授業では前回でた4)テキストを音読しながら、日本で・TOEIC Test など外部試験も積極でする。 ま務経験のある教員による授業では、過去完了(復習) は(復習) (復習) (復習)			
受業の属 ② アクテ 受業計画	イブラーニ	事ト 事授しの語 そに の を 後業、授を の 活 区 り の き と 学 の り の き り の き り の き り り の き り り り り り り	こと。また調べたご : SP(こついては必ず後 『参考書』で文法事。 内容について小テス ずに英語を理解する 是出物は完璧でなく ではしい。その成績 ICT 利用 授業内容 オリエンテーション the World 世界に及 Part 1 & Part 2 Lesson 1 Part 2 & Lesson 2 Chirori, 日本初のセラピープ Part 1 Lesson 2 Part 3 & Lesson 3 How Go	記と、考えたこの 関すること。 関などを再確認 くたが行われる。 な練習を行うこと によっては評価 によっては評価 ないる和食文化 によっては評価 ないる和食文化 はいるではでいます。 ないではではできます。 ないではでいます。 ないではできますなできます。 ないではできますなできます。 ないではできますなできます。 ないではできますなできます。 ないではできますなではできます。 ないではできますなできます。 ないではできますなできますなできます。 ないではできますなできますなできますなできますなできますなできますなできますなできますな	とを積極的に発言する 最低30分机に向かい、 思したり、ワークブッペ ことがあるので、準備 と。 には提出すること。実 価に加えることもある □ 遠隔授業対所 Washoku Around 「文化」	ようにす 1) 教題 ついておく 用英 ・ 立 立 大 で で 大 で 大 で で 大 で 大 で 大 で 大 に で 大 に で 大 に で 大 に で 大 に に に に	ること。 書・ノート 製材に取った。 技術英検 ・シートのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーとのでは、 ・シーでは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、を広げ、その日の授業の内容を確認り組むこと。3)次回の授業では前回でた4)テキストを音読しながら、日本で・TOEIC Test など外部試験も積極ではがら、日本で・TOEIC Test など外部試験も積極である教員による授業のある教員による授業では、過去完了(復習)とは(復習) C=現在分詞,過去分詞)(復習) C2(O2=that-節) 大名詞(復習)			
受業の属 アクテー 受業計画	イブラーニ	事ト 事授しの語 そに の き と 学の 2 業 介 他 用 区 り の き と 学 の う り の き り の き り の う り り り り り り り り り り り り り り り り り	こと。また調べたご : SP(こついては必ず後 『参考書』で文法事。 内容について小テス ずに英語を理解する 是出物は完璧でなく ではしい。その成績 ICT 利用 W業内容 オリエンテーション the World 世界にの Part 1 & Part 2 Lesson 1 Part 2 & Lesson 2 Chirori, 日本初のセラピープ Part 1 Lesson 2 Part 2 を Lesson 3 How Go ップの秘訣とは 「科 Part 1 & Part 2	できること、考えたこの 関することの 関などを再確認 くたが行うこの くとも期ででしまでした。 はによっては評価 というではでいまでした。 というではでいまではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではないではできます。 ないではないではないできます。 ないではないではないではないではないではないではないではないではないできます。 ないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	とを積極的に発言する 最低30分机に向かい、 思したり、ワークブッペ ことがあるので、準備 と。 には提出すること。実 価に加えることもある □ 遠隔授業対所 Washoku Around 「文化」	ようにす 1) 教題 プレてお ・ の で の で の で の で の で の で の で の で の で の	る こと。 書 対 に	、を広げ、その日の授業の内容を確認り組むこと。3)次回の授業では前回でた4)テキストを音読しながら、日本では、TOEIC Test など外部試験も積極でする。ま務経験のある教員による授業では、過去完了(復習)は、復習) ○(復習) ○(復習) ○(02(02=that-節) 代名詞(復習) ○(復習)			
授業の属	イブラーニ	事ト 事授しの語 そに か き と 学の2 業介 他用 区 上 グ 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	こと。また調べたご 学については必ず後 が考書』で文法事 内容について小テス がに英語を理解する 是出物は完璧でなく ではしい。その成績 ICT 利用 位 ICT 利用 位 ICT 利用 を A Part 2 Lesson 1 Part 2 Lesson 1 Part 3 & Lesson 2 Chirori, 日本初のセラピープ Part 1 Lesson 2 Part 3 & Lesson 3 How Go ツブの秘訣とは「和 Part 1 & Part 2 Lesson 3 Part 2 Lesson 3 Part 2	できること、 関すること。 関などを再確認 くトが行われる。 な練習を行うこと でしまっては評価 によっては評価 をいいである。 Review the First The そ・チロリ [福 & Part 3 & Review ood Is Your Me な対学]	とを積極的に発言する 最低30分机に向かい、 思したり、ワークブッペ ことがあるので、準備 と。 には提出すること。実 価に加えることもある □ 遠隔授業対所 Washoku Around 「文化」	ようにす 1) 教課が がでして 対課が がでして 大 でして 大 でして 大 でして 大 で 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ること。 書対に ま対に ま対に ま対に ま対に ま対に まが、 ま対に まが、 まが、 まが、 まが、 まが、 まが、 まが、 まが、	、を広げ、その日の授業の内容を確認り組むこと。3)次回の授業では前回でた4)テキストを音読しながら、日本では、TOEIC Test など外部試験も積極でする。 □ 実務経験のある教員による授業では、過去完了(復習) □ 実務経験のある教員による授業では、1000円では、100			
受業の属 アクテ 受業計画	イブラーニ	事下 事授しの語 そに か を 後業、授を の活 区 上 グ 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	こと。また調べたご 学については必ず後 参考書』で文法事 内容について小テス がに英語を理解する 是出物は完璧でなく ではしい。その成縁 ICT 利用 受業内容 オリエンテーション the World 世界に加 Part 1 & Part 2 Lesson 1 Part 2 & Lesson 2 Chirori, 日本初のセラピープ Part 1 Lesson 2 Part 3 & Lesson 3 How Go ツブの秘訣とは [和 Part 1 & Part 2 Lesson 3 Part 2 Lesson 3 Part 2 Lesson 3 Part 3 &	できること、考えたこの 関すること。 関などを再確認 でいたが行うこと。 はたが行うことを期限はまではまではまではます。 はたよっては評価 はたよっては評価 ないる和食文化 はいる和食文化 はいるではでいまではできます。 はいるのではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではできます。 ないではいないないないないないないないないないないないないないないないないないな	とを積極的に発言する 最低30分机に向かい、 思したり、ワークブッパ ことがあるので、準備 と。 には提出すること。実 価に加えることもある □ 遠隔授業対所 Washoku Around 「文化]	ようにす 1) 教課が がでして 対課が がでして 大 でして 大 でして 大 でして 大 で 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ること。 書対に ま対に ま対に ま対に ま対に ま対に まが、 ま対に まが、 まが、 まが、 まが、 まが、 まが、 まが、 まが、	、を広げ、その日の授業の内容を確認り組むこと。3)次回の授業では前回にた4)テキストを音読しながら、日本では、TOEIC Test など外部試験も積極では、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大の			
受業の属 アクテ	イブラーコ 国	事ト 事授しの語 そに の さ 学と 学の2 業介 他用 区 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	こと。また調べたご : 	記と、考えたこ。 関すること。 関などを再確認 (下が行うこ。 はたが行うこ。 はたが行うこ。 はたよっては評価 ともよっては評価 によっては評価 といまではでいまではできる。 はたよってはできる。 はたよってはできる。 はたよってはできる。 はたよってはできる。 はたよってはできる。 はたよってはできる。 はたよってはできる。 はたよってはできる。 はたまなないできる。 はたまななないできる。 はたまななないできる。 はたまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	とを積極的に発言する 最低30分机に向かい、 思したり、ワークブッパことがあるので、準備と。 には提出することもある には提出することもある は「支化」 Washoku Around 「文化」 erapy Dog in Japan 説社] emory? 記憶カア	ようにする。 1) 教課お がてて検 道 文 文文 文文 文文 文文 文文 文文 文文 文文	る ま 対 に 対 に 対 に 対 に が 英 検	、を広げ、その日の授業の内容を確認り組むこと。3)次回の授業では前回にた4)テキストを音読しながら、日本では、TOEIC Test など外部試験も積極では、では、では、大名詞のある教員による授業をは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では			
受業の属 アクテ	イブラーニ	事ト 事授しの語 そに のさ : bu	こと。また調べたご : SP(こついては必ず後 『参考書』で文法事。 内容について小テス ずに英語を理解する 是出物は完璧でなく ではしい。その成績 ICT 利用 ICT NA ICT	できること、考えたこのでは、 関することの 関などを再れる。 は、たが行うことでしまでしたがでいます。 にはよっては評した。 にはよっては評した。 にはいれる和食文化のでは、 では、ともいでは、 では、といいでは、 では、といいでは、 では、といいでは、 では、といいでは、 では、といいでは、 では、といいでは、 では、といいでは、 では、といいでは、 では、といいでは、 では、といいでは、 では、ことでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	とを積極的に発言する 最低30分机に向かい、 思したり、ワークブッパことがあるので、準備と。 には提出することもある には提出することもある は「支化」 Washoku Around 「文化」 erapy Dog in Japan 説社] emory? 記憶カア	ようにする 1) 教課お 検 ごご法 ・ 文文 文文 文文 文文 文文 文文 文文 文文 文文 文文 文文 文文 文文	る ま 教 で	、を広げ、その日の授業の内容を確認り組むこと。3)次回の授業では前回にた4)テキストを音読しながら、日本では、TOEIC Test など外部試験も積極による授業をできませる。 実務経験のある教員による授業をできませます。 過去完了(復習) は(復習) (復習) (復習) (復習) (復習) (復習) (復習) (復習)			

		12ป		Locar	n 1 Dart 1	9. Doviou	立 法東頂,土並進行形				
		12)	<u> </u>	Lesson 4 Part 4 & Review Lesson 5 Diversity Brings New Products よりよ			文法事項:未来進行形				
		13ป	<u> </u>	い商品 Part	品を作るため(ご必要なこととは [経済]	文法事項:動名詞の意味上の主語				
		14ป	<u> </u>	Lesso	on 5 Part 2	& Part 3	文法事項:関係代名詞の継続用法(2) 助動詞 +have+過去分詞				
		15ป	問		on 5 Part 3 明試験末	& Part 4	文法事項:完了不定詞				
		16ป	固	試験智	答案返却と解	兑	試験答案返却と解説				
		1週		Lesso	売けるヒップス	& Review akahiro : The Dancer in Me 挑 ホップ・ダンサー 上野隆博 [芸術]	文法事項:SVOC(C=過去分	詞)/仮定法過	去完了		
		2週		Lesso	on 6 Part 2	& Part 3	文法事項:分詞構文(基本)(復習)				
	3rdQ	3週		Lesso	on 6 Part 3	& Part 4	文法事項:受動態の分詞構文				
		4週		Lesso	on 6 Part 4 on 7 The Fra にしてくれ	& Review ance Okaeshi Project フランス こ「お返し」とは [文化] Part 1	文法事項:仮定法〈as if+S'	+仮定法〉			
		5週		Lesso	on 7 Part 2	& Part 3	文法事項: 仮定法〈lf+S'-w	事項: 仮定法〈If+S'-were to~〉			
		6週	1 Less		on 7 Part 3	文法事項:未知語の推測	f-節に代わるヨ	表現			
後期		7週		Lesso	on 7 Part 4 on 8 What Is Dエコとは[環	s the True Meaning of Mottainai?	文法事項:進行形の受動態				
		8週		前期中	中間試験 試on 8 Part 2	 験答案返却と解説 & Part 3	後期中間試験 試験答案返却 文法事項:省略	と解説			
		9週			on 8 Part 3		文法事項: 日刊 文法事項: 形式目的語 it (to		 it-節)		
			Lesso Lesso		on 8 Part 4 on 9 Fair Pla ソにおけるフェ		文法事項:現在完了進行形、過去完了進行形				
		11 认	11週		on 9 Part 2	& Part 3	 文法事項:同格を表すof / that				
	411.0	12վ		Lesso	n 9 Part 3	& Part 4	文法事項:複合関係代名詞 倒置				
	4thQ	13រ៉	固 Lesso		on 9 Part 4 & Review on 10 Floating Education 船が学校に1? 逆 乗り越えるヒント [教育] Part 1						
		14վ					文法事項:SVC(C=that-節)				
		1 [3]	E	Lesso	on 10 Part		文法事項:無生物主語				
		13)	後期		期末試験 後期期末試験 後期期末試験						
		16i			答案返却と解:						
	アカリ=)字習	内容と到達				Lews		
類			分野		学習内容	学習内容の到達目標	フ甘士がわけばんめています	到達レベル	授業週		
		文・社会英語				聞き手に伝わるよう、句・文におけ ーション、音のつながりに配慮して 明瞭で聞き手に伝わるような発話が	、音読あるいは発話できる。	3			
					英語運用の 基礎となる 知識	クセントの規則を習得して適切に運用できる。 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じ					
基礎的能力						新出語彙、及び専門教育に必要とな切な運用ができる。 中学で既習の文法や文構造に加え、					
						た文法や文構造を習得して適切に運	3				
						日常生活や身近な話題に関して、毎 りとした発音で話された内容から必 きる。	要な情報を聞きとることがで 				
						日常生活や身近な話題に関して、自現を用いて英語で話すことができる	3				
	人文・ ^社 科学		英語	語 -	英語運用能力の基礎固め	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わ ように音読ができる。		3			
						平易な英語で書かれた文章を読み、 を読み取ることができる。		3			
						母国以外の言語や文化を理解しよう 面で積極的にコミュニケーションを	図ることができる。	3			
						実際の場面や目的に応じて、基本的 (ジェスチャー、アイコンタクト)を	なコミュニケーション方略 適切に用いることができる。	3			
					英語運用能力向上のための学習	英語でのディスカッション(必要に応、教室内でのやり取りや教室外での きる。	らじてディベート)を想定して 日常的な質問や応答などがで	3			
						英語でディスカッション(必要に応じ学生自ら準備活動や情報収集を行い。	ンてディベート)を行うため、 、主体的な態度で行動できる	3			
						母国以外の言語や文化を理解しよう で英語で円滑なコミュニケーション	をとることができる。	3			
						関心のあるトピックや自分の専門分 平易な英語での口頭発表や、内容に のやりとりができる。		3			
						実際の場面や目的に応じて、効果的(ジェスチャー、アイコンタクト、代	なコミュニケーション方略 t用表現、聞き返しなど)を適	3			

	汎用的技能	汎用的技能		日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。				3		
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で 正しい文章を記述できる。				3		
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。				3		
分野横断的				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。				3		
能力				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相 づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。				3		
				他者の意見を聞き合意形成することができる。			3			
				合意形成のために会話を成立させることができる。			3			
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実 践できる。				3		
評価割合				-				•		
試験(中間・期末)				提出物・小テスト	授業参加度	É	計			
総合評価割合		60	60		30	10	1	100		
基礎的能力		40	40		20	10	10 7		70	
専門的能力 2		20	20		10 0		3	30		
分野横断的能力		0	0		0	0	0 0)	